

LIXIL

取扱説明書

スマート見守りカメラ

確認と
準備

カメラ
接続

必要な
とき



お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書 別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P.8～11)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本書に記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。
- 本製品は、侵入や盗難などの犯罪を阻止することや安全を保証するものではありません。万一、損害が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



PNQE1169YA

PNQE1169YA F0426MM1056

Printed in China

もくじ

はじめに.....	3
ルーターについて.....	7
録画データについて.....	7

確認と準備

安全上のご注意.....	8
使用上のお願い.....	12
各部の名前と働き.....	21
アプリをインストールする.....	25
アカウントを登録してログインする.....	26

カメラ接続

カメラを接続する.....	27
カメラをルーターに接続する(中継器なし).....	28
ルーターに無線接続用のボタンがある場合.....	28
ルーターに無線接続用のボタンがない場合.....	30
中継器を使用するとき.....	31
中継器をルーターに無線接続する.....	32
ルーターに無線接続用のボタンがある場合.....	32
ルーターに無線接続用のボタンがない場合.....	34
中継器をルーターに有線接続する.....	36

必要なとき

アプリの取扱説明書(電子版)を確認する.....	38
microSDカードについて.....	39
microSDカードの挿入/取り出し/交換と カメラ操作について.....	42
仕様.....	43
商標・著作権・ライセンスなど.....	45
困ったとき.....	47
こんなときには.....	52
修理と保証.....	53

はじめに

本書について

- 本書では、カメラの設置後に行うルーターとの接続および関連する設定手順について説明しています。
詳細な操作・設定については、「みまもりカメラ」アプリの取扱説明書と合わせてお読みください。
- スマート見守りカメラを「カメラ」、別売品の「無線中継器」を「中継器」、専用アプリ「みまもりカメラ」を「アプリ」と表記しています。
- 記載した情報、画面表示は2026年3月時点のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

付属品の確認

ご確認のうえ、不備な点がございましたらお買い上げの販売店へお申し付けください。

☐ カメラ作動中ステッカー
(1枚)



☐ スマートフォン登録用
QRコードステッカー(1枚)



※同じQRコードが、本書の表紙とカメラ本体(フロントカバーを取り外した表面)にあります。



お願い

- microSDカードは付属していません。対応のmicroSDカードはP.39を参照のうえ、ご用意ください。
- 包装材料は、商品を取り出したあと適切に処理をしてください。

本機について

本機は、検知した映像をカメラ内のmicroSDカード（市販品）に録画します。スマートフォンに専用アプリ「みまもりカメラ」をインストールして、カメラと接続設定するとカメラの映像を確認したり、人の検知や動きの検知をしたときの録画を再生することができます。

- 検知するには、アプリの「検知」設定をONにしてください。
設定については、アプリの「取扱説明書」（電子版）を参照してください。（microSDカードを入れるだけでは録画されません）
- 本機を使用するには、右記のようなネットワーク環境が必要です。

システム構成について（2026年3月時点）

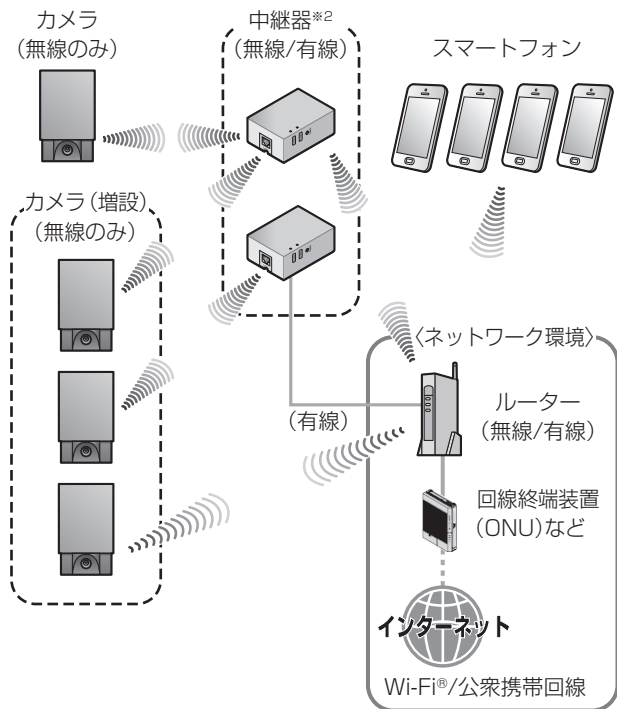
〈一世帯あたりの推奨する接続台数とシステム構成〉

安定した無線通信環境をご利用いただくため、以下の接続台数を推奨しています。

機器名	接続台数
カメラ	本機と合わせて4台まで
スマートフォン	4台まで※ ¹
中継器	2台まで（中継器同士の接続はできません） ● 中継器1台につき、カメラ2台まで

※¹ 複数台のスマートフォンで利用する場合は、アプリの「取扱説明書」（電子版）を参照してください。

● 図中のマーク：  無線LANの電波 (2.4 GHz帯)



※2 ルーターとカメラは、直接接続することも、中継器を経由して接続することも可能です。設置環境に応じて最適な方法をお選びください。なお、ルーターとカメラの間に障害物があり電波が届きにくい場合は、中継器を設置することで電波状態が改善することがあります。

- 中継器とルーターを有線で接続する場合は、市販のLANケーブル (カテゴリー5以上) をご使用ください。

(次ページにつづく)



お知らせ

- インターネットに接続してご使用になる場合、セキュリティに関する注意が必要です。ご利用前に「使用上のお願い」の「セキュリティについて」をお読みください。

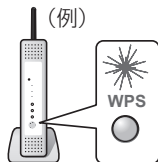
ルーターについて

インターネットに接続したルーター（市販品：グローバルIPアドレスが付与されているインターネットとUPnPに対応したもの）にカメラを接続する必要があります。

無線ルーターについて

- カメラとの接続に使用する電波（無線LAN）の周波数帯域は「2.4 GHz」です。「5 GHz」では使用できません。
- 本体に無線接続用のボタン（WPS、らくらく無線スタートなど）があるかをご確認ください。

- ボタンの有無で、操作方法が異なります。
ただし、ボタンがあっても、ルーターの設定によっては使用できない場合があります。詳細は、ルーターの説明書をお読みください。（P.27「カメラを接続する」）
- ボタンがない場合、接続の際に以下のネットワーク情報が必要です。事前に調べておくことをお勧めします。
 - 2.4 GHzネットワーク名（SSID）
 - 暗号化キー（パスワード）
- 通信の安全性を高めるため、暗号化方式にはAESを使用する設定をお勧めします。



録画データについて

本機は、検知した映像をカメラ内のmicroSDカードに録画します。録画容量がいっぱいになると、古い画像から順に自動で消去され、新しい画像が録画されます。（手動で消去する必要はありません）ただし、未確認の画像も自動で消去されるため、残しておきたい画像は次の方法で保存してください。

- **スマートフォンに保存する場合**
（アプリの「取扱説明書」（電子版）を参照）
- **パソコンに保存する場合**
カメラからmicroSDカードを取り出し、保存したい録画データをパソコンにコピーしてください。（再生についてはP.41）

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

火災・感電・漏電などを防ぐために



禁止

■ 分解・修理・改造しない

→ 修理は販売店へご相談ください。

■ DC ケーブルを破損するようなことはしない

- ・傷つける、加工する、熱器具に近づける、コードに過度なストレスを加える（無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど）
（傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因）

→ 修理は販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴ったら、本機に触れない

■ ホースなどで直接、本体やレンズに水をかけない※

■ 機器内部に水をかけたり、ぬらしたりしない※

※ぬれた場合は、すぐにトランス電源ユニットの電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。

■ 機器内部に金属物を入れない

→ 金属物が入った場合は、すぐにトランス電源ユニットの電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。



■ 煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐにトランス電源ユニットの電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切る

（そのまま使用すると、火災や感電の原因）

→ 使用を中止し、販売店へご相談ください。

警告

事故やけがなどを防ぐために



禁止

- 本機やDCケーブルを引っ張ったり、ぶらさがったりしない
(カメラの落下によるけがの原因)
- 落下させたり、強い衝撃を加えない
- microSDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない
(誤って飲み込むおそれあり)
→ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
- 本機は医療機器や、自動ドア／火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない
(本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります)



- 心臓ペースメーカーをお使いの方は、本機から15 cm以上離れて使用する
(本機からの電波が、ペースメーカーの作動に影響を与える場合あり)

注意

火災・感電などを防ぐために



禁止

- 湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

事故やけがなどを防ぐために



禁止

- スピーカーに耳を近づけて使用しない
(急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり)

- カメラのメンテナンスの際に不安定な台に乗らない※
(落下によるけがや事故の原因)

※お客様ご自身で実施する場合、安定した台を使って必ず2人以上で行ってください。

作業に不慣れな方や、適切な安全措置をとることが難しいと感じる場合は、お客様相談センター(P.54)にご連絡することを強く推奨します。

使用上のお願い

電波を使う次の機器から離す

電波干渉によるノイズ発生などの原因になります。

- 電子レンジ
- ワイヤレスAV機器(テレビ・ステレオ・パソコンなど)
- その他、以下の機器も影響がある場合があります。
 - ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - 万引き防止システム(書店やCDショップなど)
 - アマチュア無線局
 - 工場や倉庫など物流管理システム
 - 鉄道車両や緊急車両管理システム
 - マイクロ波治療器
 - その他、Bluetooth®対応機器やVICS(道路交通情報通信システム)など

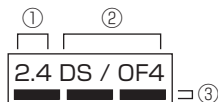
電波について

●使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

●周波数表示の見かた

周波数表示は、定格銘板に記載しています。



①2.4 GHz帯を使用

②変調方式がDS-SS方式/OFDM方式で、電波干渉距離40 m以下

③2.4 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

●本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源を切って、P.54の「お客様相談センター」にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、P.54の「お客様相談センター」へお問い合わせください。

通信について

- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている場所、電磁波が発生している場所では使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると、雑音が大きくなったり、通信ができなくなる場合があります。(特に電子レンジを使用する際に影響を受けることがあります)
- テレビ・ラジオなどに近い場合、受信障害の原因となったり、テレビ画像が乱れる場合があります。
- カメラとルーターの距離が離れていたり、機器間に次のように電波を通しにくい(または電波を反射する)障害物があると、通信できないことがあります。
 - 金属製のドアや雨戸、シャッター
 - アルミはく入りの断熱材が入った壁
 - コンクリートやトタン製の壁
 - 複層ガラスの窓
 - 壁を何枚もへだてたところ
 - 各機器をそれぞれ、別の階や家屋で使うとき
- カメラとルーターの距離が離れていたり、映像が乱れる通信障害などがある場合は、中継器の設置をお勧めします。
- スマートフォン連携のとき、複数の無線アクセスポイントが近くにあり、同じチャンネルを使用していると、無線接続に時間がかかる場合があります。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては、電波の影響を受けて雑音が入る場合があります。
- セキュリティ制限が設定されたネットワーク環境では、正常にご利用いただけない場合があります。

通信の傍受について

本機はデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

セキュリティについて

本システムの使用時は下記のセキュリティリスクを防ぐために適切な措置をとってください。

- 本システムを経由した個人情報の流出
- 第三者による、本システムの違法な使用
- 第三者による、本システムの使用干渉および使用停止

〈必要な措置や対応について〉

- 機器が不正に操作されるのを防止するため、パスワードは定期的に変更してください。
- 容易に推測可能なパスワードを設定すると、第三者にパスワードを見破られるおそれがあります。「パスワード」は推定が難しいものを設定していただき、その控えは漏れないように管理してください。
- スマートフォン内部の利用者情報漏えいを防止するために、端末ロック機能を有効にしてください。
- 公衆Wi-Fi（公衆無線LAN）を使用する場合は、必ず暗号化レベルを確認して、セキュリティレベルが低いときは使用を控えてください。
- 不要となったスマートフォンからアプリをアンインストールしてください。

プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

免責事項

- カメラの検知機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には使わないでください。
- カメラの検知機能を使うことによって生じた事故などの結果について、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティ対策を施さず、あるいは、ネットワークの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

カメラの画質について

- 次のような場合があります。
 - 色合いが、実際の色と異なる
 - 逆光のとき、人の顔が暗くなる
 - 暗い場所で画質が低下する
 - 外灯を映すと、周りがかすんだようになる
- 次のような場合は、人が識別しにくくなります。
 - 夕方や夜間など、カメラの周囲が暗いとき
 - 動いている人の撮影（映像がぶれます）
- モニターや録画再生を行うとき、映像の画質が低下することがあります。主な要因は次のとおりです。
 - 無線LANの電波が弱い、または電波干渉が多い場合
 - 複数台のカメラを同時に使用したり、同じ無線LAN内で他の機器を使用することで、通信帯域が不足している場合
 - 映像に動きや複雑な部分が多い場合
（例：被写体の動きが大きい、植込みや雨など細かいものが多い場面）

正しくお使いいただくために

- P.21のカメラレンズ（カメラユニット）にキズや汚れをつけないでください。（きれいに撮影できなくなったり、正しく検知できなかったり、変形や故障の原因になります）
- 直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を、長時間映さないでください。（撮像素子が破損する原因になります）

個人情報について(修理・譲渡・廃棄など)

カメラで使用するmicroSDカード(市販品)には録画・録音データの個人情報が記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

〈免責事項〉

- 記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機を修理・譲渡・廃棄・返却するとき〉

- ご使用のmicroSDカードはカメラから必ず取り出して保管ください。
- microSDカードを譲渡・廃棄するときは(P.40)

その他

- 本機の銘板は、フロントカバーを取り外したカメラの表面で確認できます。
- 分解・改造することは法律で禁じられています。(故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)
- 使用を中止するときは、万一の落下防止のため、カメラを取り外してください。カメラを高いところに取り付けている場合などは、取り外しをお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機は電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することができません。本機をインターネットに接続する場合は必ずルーターを経由して接続してください。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

お手入れについて

誤動作防止のため、本機の電源を切ってから、柔らかい布で拭きしてください。

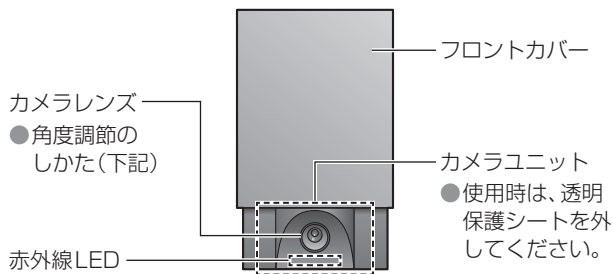
- 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭いてください。



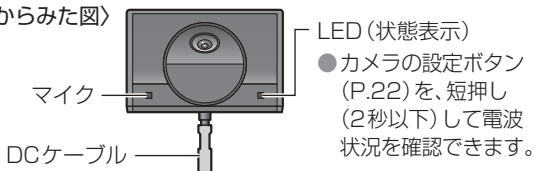
お願い

- カメラレンズを強く押して拭かないでください。すり傷による画質低下や、防水機能が失われてカメラが故障する原因になります。
- ホースなどで直接、本体やレンズに水をかけないでください。カメラが故障する原因になります。
- お手入れに、塩素を含む洗剤、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因になります)

各部の名前と働き



〈真下からみた図〉



■カメラレンズの角度調節のしかた

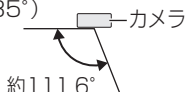
カメラユニットを持って、左右に動かしてお好みの位置にします。

- 角度の調節幅：正面から左右に各約35°
- 撮影範囲(カメラ画角)：水平約111.6°

例) カメラユニット正面
(角度0°)



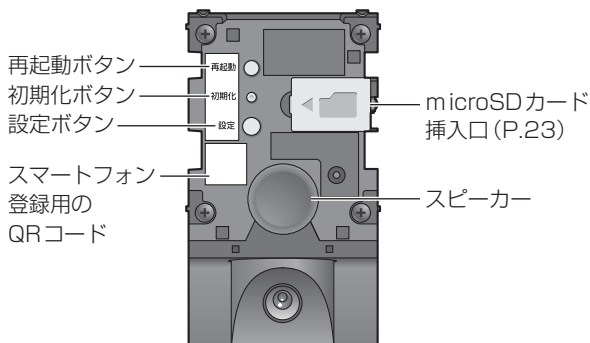
例) カメラユニット左向き
(角度35°)



お願い

- 無理に左右35°以上は回さないでください。
- カメラレンズには触らないでください。

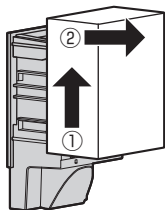
〈フロントカバーを取り外した正面図〉



■フロントカバーの外し方/取り付け方

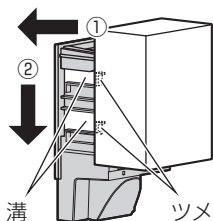
外すとき：

- ① フロントカバーを上方向に約 1 cm ずらす。
- ② 正面方向にずらして取り外す。



取り付けるとき：

- ① フロントカバー内側のツメを本体の溝に沿わせながら右図のように本体にかぶせる。
- ② フロントカバーを下方向に下げ、ロックが掛かる位置までずらす。



■初期化ボタンについて

ペン先などの細いもの(ただし、先端が鋭くないもの)で約5秒間、長押ししてください。(お買い上げ状態に戻ります)

■microSDカードについて

- microSDカードは付属されていません。(対応のmicroSDカードはP.39を参照)
- 録画するときやmicroSDカードを交換したときは、アプリの[検知]をONにして、[録画する]の設定がONであることを確認してください。(microSDカードを入れるだけでは録画されません)
(設定については、アプリの「取扱説明書」(電子版)を参照)
- 入れるとき:
ゴムカバーを開け、図1のように端子部を裏面にして、カチッと鳴るまで挿入口にまっすぐ押し込んでください。
(挿入後、ゴムカバーの穴を図2のように突起部に通してしっかり閉めてください)
- 取り出すとき:
microSDカードを取り出す前に、アプリの[検知]をOFFにしてください。
ゴムカバーを開け、カチッと鳴るまで押し込み指を離します。カードが少し飛び出したら、まっすぐ取り出してください。

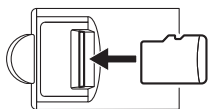


図1

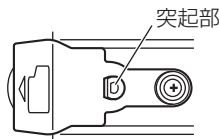


図2

■スピーカーについて

カメラから鳴る検知音はスピーカーから聞こえます。([検知音を出力する]の初期値はONです)

検知音の音量が設置場所周辺で騒音とみなされる場合は、カメラの音量を調整する、または[検知音を出力する]をOFFにしてください。(アプリの「取扱説明書」(電子版)を参照)

■カメラのLED(状態表示)について

カメラの動作状態に応じてLEDの表示が変わります。

動作状態		LEDの状態
電源投入時		オレンジ点灯→オレンジと緑の交互点滅→待機時へ
待機時(ルーターや中継器に接続後)		緑点灯(オレンジ点灯:ルーターや中継器と未接続)
IPアドレス取得中		緑速点滅
録画中		赤遅点滅
バージョンアップ中		緑遅点滅
高温異常時		赤点灯
圏外		赤速点滅
初期設定時	無線接続中	オレンジ遅点滅
	接続成功(待機時)	緑点灯
	接続失敗	赤速点滅
	QRコード読み取り中	赤遅点滅

〈カメラの電波状態の確認のしかた〉(電波レベル)

- カメラ⇄ルーター、カメラ⇄中継器の電波:カメラのフロントカバーを取り外して(P.22)、カメラの設定ボタンを短押し(2秒以下)してください。

動作状態	LEDの状態
ルーターや中継器に接続後	電波(中/強):緑速点滅※1
	電波(弱):オレンジ速点滅※1、※2

※1 電波確認を終了したいときは、設定ボタンをもう一度押ししてください。

※2 電波強度が弱い場合でも録画はされますが、モニターなどスマートフォンでの操作ができない場合があります。ルーターや中継器を電波の届きやすい位置に移動すると電波状態が改善できることがあります。

アプリをインストールする

ルーターに接続する前に、アプリをインストールして、アカウントを登録してください。

- 1 アプリのダウンロードサイトで
「みまもりカメラ」アプリを検索して
インストールする
または
下記のQRコードを読み取って
「みまもりカメラ」アプリをインストールする



iOS (iPhone)



[https://s.lixil.com/
camera_app_ios](https://s.lixil.com/camera_app_ios)

Android



[https://s.lixil.com/
camera_app_android](https://s.lixil.com/camera_app_android)

お知らせ

- 「みまもりカメラ」の利用にはメールアドレスの登録が必要です。
- 「みまもりカメラ」は株式会社LIXILが提供するアプリです。本アプリの利用にあたっては、株式会社LIXILが定める使用許諾契約に同意する必要があります。
- ご使用のスマートフォン（機種やOS、接続されている周辺機器やインストールされているアプリなどの動作環境）によっては、アプリが正常に動作しない場合があります。
- アプリや、カメラ・中継器のファームウェアは、機能追加や改善を行っています。アップデートをして最新バージョンでのご利用をお勧めします。スマートフォンにアップデートのお知らせが届いた場合、画面の表示に従って操作をしてください。

アカウントを登録してログインする

アカウントの登録には、メールアドレスが必要です。

- フリーメールまたはPCメールアドレスなどの利用をお勧めします。

携帯電話の通信事業者が提供するメールアドレスの場合、次のようなときにアカウント登録ができません。

- 迷惑メール対策などでシステム側からのメールが受信できないとき。
- SMS(ショートメッセージサービス)でメール受信する設定にしているとき。(認証コードが正しく表示されません)

1 アプリを起動する

2 アプリに関するお知らせを確認して、アプリを利用するために「プライバシーポリシー」と「利用規約」をよく読み、[同意する]をタップする(同意しないとアプリを利用できません)

- その他、許可を求めるメッセージが表示されたら、許可してください。

3 アカウントを登録する

- ① 画面下部の[新規登録]をタップし、メールアドレスとパスワードを入力する
- ② [登録する]をタップする
- ③ 登録したメールアドレスに、システムから「認証コード」が送信される※1
- ④ 認証コード画面で上記③の「認証コード」を入力し、[認証する]をタップする
- ⑤ 「登録に成功」の表示がでたら、[ログイン画面へ]をタップする

4 ログイン画面で登録したメールアドレスとパスワードを入力し、[ログインする]をタップする

- アプリのトップ画面が表示されます。

※1 認証コードが届かない場合は、迷惑メールフォルダーをご確認ください。(迷惑メール対策で、迷惑メールフォルダーに入ることがあります)

カメラを接続する

アプリでログイン後、[+カメラを追加する]を押し、画面の表示に従って本書と合わせてカメラを接続してください。

● 接続後は、電波強度の確認をしてください(P.24)

カメラとルーターの設定方法は、別売品の中継器の使用有無やルーターの種類によって異なります。設置環境に合わせて設定してください。

- ご使用のルーターに無線接続用のボタン(WPS、らくらく無線スタートなど)があり、機能を使用できるかをご確認ください。
- 操作をする前に、接続する機器の電源を入れ、1分程度待ってから操作してください。

中継器を使用しない場合

① ルーターに無線接続用のボタンがある場合



P.28

② ルーターに無線接続用のボタンがない場合



P.30

中継器を使用する場合

③ ルーターに無線接続用のボタンがある場合



P.31、
P.32

④ ルーターに無線接続用のボタンがない場合



P.31、
P.34

ルーターと中継器の間の電波が弱い場合、ルーターと中継器間を有線LAN接続に変更することをお勧めします。

⑤ 中継器をルーターに有線接続する

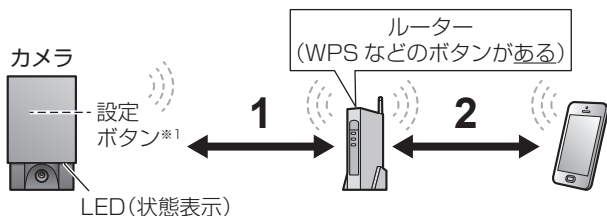


P.36

カメラをルーターに接続する(中継器なし)

操作は、カメラ、ルーター、スマートフォンで行います。
設定方法は、ルーターに無線接続用のボタンがある場合と、ない場合の2つの方法があります。

ルーターに無線接続用のボタンがある場合



※1 フロントカバーを取り外したカメラの表面にあります。
(外し方はP.22)

1 カメラとルーターをWPSなどのボタンで接続する



カメラの操作

- ① 設定ボタンを5秒以上、長押しする
 - 「ピー」などの受付音が鳴ります。
 - LEDがオレンジ遅点滅します。
 - 続けてルーターで次ページの操作をしてください。
(操作がエラーになったときは、①からやり直してください)



無線ルーターの操作

- ① WPSなどのボタンをWPSランプが点滅するまで長押しする
 - 機器によって操作が異なることがありますので、詳細はルーターの説明書をお読みください。
 - カメラのLEDが緑点灯になったら接続成功です。次の手順に進んでください。赤速点滅の場合は失敗です。ルーターの位置を調整する、または中継器を設置すると電波状態が改善できることがあります。(中継器を使用するときはP.31)



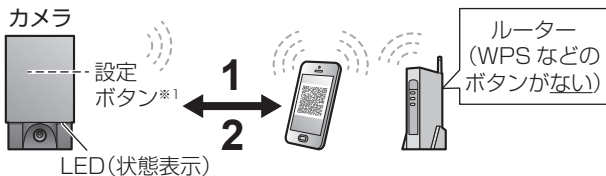
カメラの操作

- ① 電波強度確認のために、接続完了後に、設定ボタンを再度押す(2秒以下の短押し)
- ② カメラのLEDで電波強度を確認する(電波レベルはP.24)(アプリでは数値で確認することができます)
 - LEDが緑速点滅の場合、電波強度が「中/強」のため、登録完了です。
 - LEDがオレンジ速点滅の場合、電波強度が「弱」のため、ルーターの位置を調整する、または中継器を設置すると電波状態が改善できることがあります。(中継器を使用するときはP.31)

2 アプリにカメラを追加(登録)する

- 詳細はアプリの「取扱説明書」(電子版)を参照してください。

ルーターに無線接続用のボタンがない場合



※1 フロントカバーを取り外したカメラの表面にあります。
(外し方はP.22)

スマートフォンは、カメラを接続するルーターの「2.4 GHz」に
Wi-Fiで接続してください。

1 スマートフォンでQRコードを表示し、カメラで読み取る



スマートフォンの操作 /



カメラの操作

- ① アプリの画面で、[+カメラを追加する] をタップする
- ② 画面の表示に従って、QRコード（ご使用のルーターの
2.4 GHzのネットワーク名（SSID）と暗号化キー）をカメラ
で読み取る
 - スマートフォンに表示したQRコードをカメラから
20 cm程度離して読み取らせてください。読み取りに
成功すると、カメラが「ピッ」と鳴ります。

カメラのLEDが緑点灯になると接続成功です。

- ③ カメラのLEDで電波強度を確認する（電波レベルはP.24）
（アプリでは数値で確認することができます）
 - LEDが緑速点滅の場合、電波強度が「中/強」のため、登
録完了です。
 - LEDがオレンジ速点滅の場合、電波強度が「弱」のため、
ルーターの位置を調整する、または中継器を設置すると
電波状態が改善できることがあります。（中継器を使用
するときはP.31）

2 アプリにカメラを追加（登録）する

- 詳細はアプリの「取扱説明書」（電子版）を参照してください。

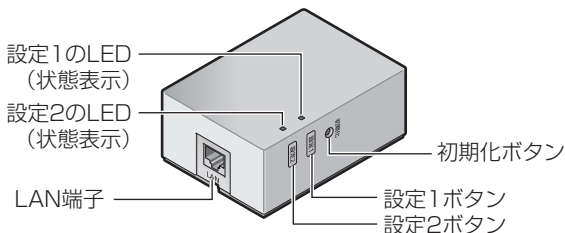
中継器を使用するとき

カメラとルーター間の電波が届きにくい場合などに、別売品の「無線中継器」を設置すると、電波状態が改善できることがあります。

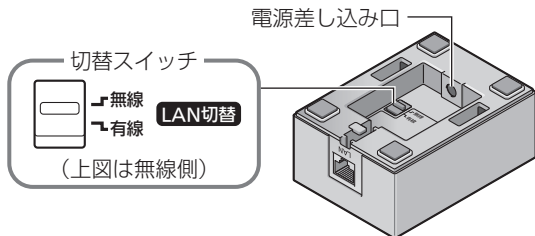
ルーターへの接続方法は、無線接続と有線接続の2つの方法があります。

- 設置の前に、中継器の取扱説明書の「こんなところに設置しない」をお読みください。
- 周りに障害物がなく、見通しのよい場所に設置されることをお勧めします。
- 設定1ボタン：ルーターと中継器間の接続設定や、電波確認に使用します。

設定2ボタン：カメラと中継器間の接続設定に使用します。



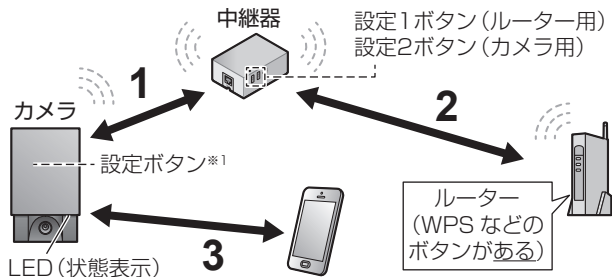
〈底面〉



中継器をルーターに無線接続する

操作は、カメラ・中継器・ルーター・スマートフォンで行います。設定方法は、ルーターに無線接続用のボタンがある場合と、ない場合の2つの方法があります。

ルーターに無線接続用のボタンがある場合



※1 フロントカバーを取り外したカメラの表面にあります。
(外し方はP.22)

1 カメラと中継器を接続する



カメラの操作

- ① 設定ボタンを5秒以上、長押しする
 - 「ピー」などの受付音が鳴ります。
 - LEDがオレンジ遅点滅します。
 - 続けて中継器で下記の操作をしてください。(操作がエラーになったときは、①からやり直してください)



中継器の操作

中継器裏側の切替スイッチが無線側になっていることを確認してください。

- ① 設定2ボタンを5秒以上、長押しする
 - 設定2のLEDがオレンジ遅点滅します。



カメラの操作

- ① カメラのLEDで電波強度を確認する（電波レベルはP.24）
（アプリでは数値で確認することができます）
 - LEDが緑速点滅の場合、電波強度が「中/強」のため、登録完了です。
 - LEDがオレンジ速点滅の場合、電波強度が「弱」のため、中継器の位置を調整すると電波状態が改善できることがあります。

2 中継器とルーターをWPSボタンなどで接続する



中継器の操作

- ① 設定1 ボタンを5秒以上、長押しする
 - 設定1のLEDがオレンジ遅点滅します。
 - 続けてルーターで下記の操作をしてください。（操作がエラーになったときは、①からやり直してください）



無線ルーターの操作

- ① WPSなどのボタンをWPSランプが点滅するまで長押しする
 - 機器によって操作が異なることがありますので、詳細はルーターの説明書をお読みください。

中継器の設定1のLEDが緑点灯になると接続成功です。



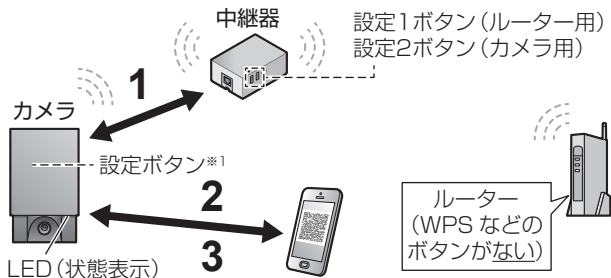
中継器の操作

- ① 中継器のLEDで電波強度を確認する（電波レベルは中継器の取扱説明書を参照）
（アプリでは数値で確認することができます）
 - 設定1のLEDが緑速点滅の場合、電波強度が「中/強」のため、登録完了です。
 - 設定1のLEDがオレンジ速点滅の場合、電波強度が「弱」のため、ルーターの位置を調整する、または中継器とルーター間を有線接続してください。（P.36）

3 アプリにカメラを追加（登録）する

- 詳細はアプリの「取扱説明書」（電子版）を参照してください。

ルーターに無線接続用のボタンがない場合



※1 フロントカバーを取り外したカメラの表面にあります。
(外し方はP.22)

スマートフォンは、カメラを接続するルーターの「2.4 GHz」にWi-Fiで接続してください。

1 カメラと中継器を接続する



カメラの操作

- ① 設定ボタンを5秒以上、長押しする
 - 「ピー」などの受付音が鳴ります。
 - LEDがオレンジ遅点滅します。
 - 続けて中継器で下記の操作をしてください。(操作がエラーになったときは、①からやり直してください)



中継器の操作

中継器裏側の切替スイッチが無線側になっていることを確認してください。

- ① 設定2ボタンを5秒以上、長押しする
 - 設定2のLEDがオレンジ遅点滅します。

カメラのLEDと中継器の設定2のLEDが緑点灯になると接続成功です。



カメラの操作

- ① カメラのLEDで電波強度を確認する（電波レベルはP.24）
（アプリでは数値で確認することができます）
 - LEDが緑速点滅の場合、電波強度が「中/強」のため、登録完了です。
 - LEDがオレンジ速点滅の場合、電波強度が「弱」のため、中継器の位置を調整すると電波状態が改善できることがあります。

2 スマートフォンでQRコードを表示し、カメラで読み取る



スマートフォンの操作 / カメラの操作

- ① アプリの画面で、[+カメラを追加する] をタップする
- ② 画面の表示に従って、QRコード（ご使用のルーターの2.4 GHzのネットワーク名（SSID）と暗号化キー）をカメラで読み取る
 - スマートフォンに表示したQRコードをカメラから20 cm程度離して読み取らせてください。読み取りに成功すると、カメラが「ピッ」と鳴ります。

中継器の設定1のLEDが緑点灯になるとルーターと接続成功です。



中継器の操作

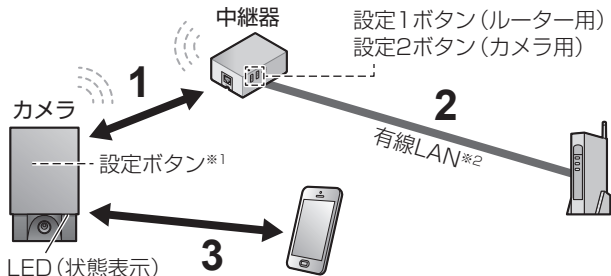
- ① 中継器のLEDで電波強度を確認する（電波レベルは中継器の取扱説明書を参照）
（アプリでは数値で確認することができます）
 - 設定1のLEDが緑速点滅の場合、電波強度が「中/強」のため、登録完了です。
 - 設定1のLEDがオレンジ速点滅の場合、電波強度が「弱」のため、ルーターの位置を調整する、または中継器とルーター間を有線接続してください。（P.36）

3 アプリにカメラを追加（登録）する

- 詳細はアプリの「取扱説明書」（電子版）を参照してください。

中継器をルーターに有線接続する

中継器とルーターの間の電波が弱い場合、中継器とルーター間を有線LAN接続に変更することをお勧めします。(接続方法を変更する場合は、カメラと中継器の初期化を行ってください)



※1 フロントカバーを取り外したカメラの表面にあります。

(外し方はP.22)

※2 カメラと中継器を接続したあとに、有線接続してください。

1 カメラと中継器を接続する



カメラの操作

- ① 設定ボタンを5秒以上、長押しする
 - 「ピー」などの受付音が鳴ります。
 - LEDがオレンジ遅点滅します。
 - 続けて中継器で下記の操作をしてください。(操作がエラーになったときは、①からやり直してください)



中継器の操作

中継器裏側の切替スイッチが有線側になっていることを確認してください。

- ① 設定2ボタンを5秒以上、長押しする
 - 設定2のLEDがオレンジ遅点滅します。



カメラの操作

- ① カメラのLEDで電波強度を確認する（電波レベルはP.24）
（アプリでは数値で確認することができます）
 - LEDが緑速点滅の場合、電波強度が「中/強」のため、登録完了です。
 - LEDがオレンジ速点滅の場合、電波強度が「弱」のため、中継器の位置を調整すると電波状態が改善できます。

2 中継器とルーターをLANケーブルで接続する

- 中継器の設定1のLEDがオレンジ点滅したあと、緑点灯します。

中継器の設定1のLEDが緑点灯になると接続成功です。

3 アプリにカメラを追加（登録）する

- 詳細はアプリの「取扱説明書」（電子版）を参照してください。

アプリの取扱説明書(電子版)を確認する



スマートフォンの操作

- 1 アプリを起動し、[アプリ設定] をタップする
- 2 [取扱説明書] をタップする
 - 取扱説明書(電子版)が表示されます。

microSDカードについて

microSDカードは付属されていません。録画するには対応のmicroSDカードが必要です。

本機で使えるmicroSDカード

本機はSD規格に準拠したmicroSDメモリーカードに対応しています。(本書ではmicroSDメモリーカードを総称して「microSDカード」と記載しています)

対応のmicroSDカード

- 対応カードの種類
microSDHCメモリーカード: 4 GB、8 GB、16 GB、32 GB
microSDXCメモリーカード: 64 GB、128 GB、
256 GB、512 GB
- スピードクラス
Class 10、UHS Speed Class 1 以上
- 対応可能なmicroSDカードの詳細については下記を参照してください。
https://s.lixil.com/camera_sdcard_recomm
- フォーマット
FAT32/exFAT
(フォーマットについては、アプリの「取扱説明書」(電子版)を参照してください)
- 最大記録容量(録画時間)の目安



容量	録画時間	
	解像度FHD	解像度HD
128 GB	約291時間	約388時間
512 GB	約1165時間	約1553時間

実際の録画時間は、設置する場所や撮影する内容によって異なります。

録画データについて

詳細は、P.7をお読みください。

microSDカードの取り扱いについて

- 新しいmicroSDカードを使用する場合でも、アプリでフォーマットをしてください。(アプリの「取扱説明書」(電子版)を参照)
- パソコンなどの他機器で使用していたmicroSDカードをフォーマットする際は、事前にmicroSDカード内の大切なデータをパソコンなどに保存してください。フォーマットするとデータはすべて消去されます。
- 大切なデータを保護するためにデータの読み出し中や書き込み中は、microSDカードや電源を抜かないでください。microSDカード内のデータが破壊されることがあります。また、電磁波、静電気、本機やmicroSDカードの故障などによってもmicroSDカード内のデータが壊れたり、消失することがありますので、大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。

データの損失などにより発生した損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

microSDカードを譲渡・廃棄するとき

microSDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

本アプリ機能やパソコンによる「フォーマット」や「消去・削除」では、多くの場合、microSDカード内のデータは完全には消去されません。譲渡の際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってmicroSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

また廃棄の際は、microSDカードを物理的に破壊するか、microSDカード内のデータを完全に消去して、地域ルールに従って、分別廃棄をお願いします。

データをパソコンで再生する

microSDカードに記録した画像・映像データはパソコンで再生することができます。

- 再生に使用するソフトの対応OSによっては、正しく再生されない・正しく動作しない場合があります。
- 再生操作のしかたは、パソコンの取扱説明書または再生ソフトの取扱説明書をお読みください。
- microSDカードの録画データは、フォルダーが自動的に作成されます。フォルダー構造については、アプリの「取扱説明書」（電子版）をお読みください。



お願い

- パソコンでフォルダーやファイルの消去をしたり、名称の変更をしたりしないでください。本アプリで再生できなくなります。

microSDカードの挿入/取り出し/ 交換とカメラ操作について

- microSDカードの挿入/取り出し/交換やカメラ操作（初期化ボタンを押す・角度調整など）をする場合、高所作業となり危険を伴いますので、お客様相談センター（P.54）へご連絡ください。
- 上記の作業をお客様ご自身で実施する場合、高所作業となり危険を伴いますので次のようなことをご注意ください。
なお、高所作業に不慣れな方や、適切な安全措置をとることが難しいと感じる場合は、お客様相談センター（P.54）にご連絡することを強く推奨します。
 - 安定した台を使って必ず2人以上で行い、安全を十分確保する（例：不安定な台に乗らない）
- パソコンなどの他機器で使用したmicroSDカードを使用しない（microSDカード内の保存されたデータが消去される可能性があります）
- microSDカードを交換後はアプリでフォーマットする（フォーマットすると、microSDカードに記録された情報が全消去されます）

〈免責事項〉

microSDカードの挿入/取り出し/交換やカメラの操作をすることによって生じた事故などの結果や発生した損害については、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。（保証の対象外です）

仕様

電源	DC 12 V
消費電力	赤外線LED消灯時：最大約4.5 W 赤外線LED点灯時：最大約5.0 W
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	約140×84×56
質量	約390 g
使用環境条件	周囲温度：－10℃～＋50℃ 湿度：20％～90％(結露なきこと)
通信可能距離※1	見通しがよく障害物がない場合で、最大100 m ● 障害物がある場合の目安は、木造壁のときで約5～30 m※2
撮像素子	約200万画素 高感度CMOSセンサー
解像度	FHD：1920×1080 HD：1280×720
フレームレート	15 fps
無線インターフェース	無線LAN(2.4 GHz)、クライアントモード 規格：IEEE802.11 b/g/n、2.4 GHz [1ch-13ch] 暗号化方式： なし、WEP、WPA-PSK (AES)、 WPA2-PSK (AES)、WPA3-SAE (AES) (Hunting-and-Pecking)
ネットワーク プロトコル	IPv4

※1 通信については、P.14をよくお読みください。

※2 壁などの障害物がある場合は、使用できる距離が短くなります。コンクリート壁、浴室、金属製の雨戸などの障害物の場合は、さらに短くなります。

最低被写体照度	0ルクス (赤外線LED)
フォーカス範囲	固定(約 1 m～∞)
撮影範囲 (カメラ画角)	水平: 約 111.6° 垂直: 約 59.6°
取付角度 (カメラユニット)	水平: 約 0° (左右: 各約 35° カメラレンズ角度 調節可能) 垂直: 約 30°
検知方式	動作検知および人検知
検知範囲	水平: 約 111.6° 垂直: 約 59.6°
ナイトビジョン	あり (IRモード)
ナイトビジョン 距離	約 10 m※3
防塵・防水性	IP54※4
カメラ接続台数	一世帯あたり推奨4台まで(最大8台)
スマートフォン 接続台数	一世帯あたり推奨4台まで(最大8台)※5

※3 夜間(暗い場合)に、赤外線LEDが点灯した場合の撮影可能な距離

※4 **防塵性規格等級5**: 機器の所定動作および安全性を障害する塵埃は入らないレベル

防水性規格等級4: あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

※5 共有台数を含む

商標・著作権・ライセンスなど

商標について

- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- IOSは米国その他の国や地域におけるCiscoの商標または登録商標であり、ライセンス許諾を受けて使用されています。
- iPhone は、Apple Inc.の商標です。
- Android はGoogle LLC の商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- 本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。

著作権について

- この製品には、フリーソフトウェア財団のGPL、LGPL、およびその他の条件に基づいたオープンソースソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。本製品に表示されるGPLやLGPLのライセンス情報、オープンソースソフトウェアについての情報は、ホームページに掲載しています。GPL、LGPLの条件のもとで認可されたソースコードは公開されています。これらのソフトウェアについては保証の範囲外となりますので、あらかじめご了承ください。製品販売後、少なくとも3年間、株式会社LIXILはコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPLおよびその他のオープンソースソフトウェアの利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPLソフトウェアおよびその他のオープンソースソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコード、および著作権表示のリストを頒布します。上記記載内容へのお問い合わせや関連するソースコードの入手方法については、下記URLをご参照ください。
https://s.lixil.com/camera_OSSlicense
- 検知音（検知音1～3）または警告音（警告音1～3）選択時にスマートフォンから鳴る音色は、©2025 Yoshida Toruの許可を得てデータを使用しています。

ライセンスについて

- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

困ったとき

本機の機能設定などを変更することで改善できる場合があります。

カメラや中継器の設置時

カメラの設置時にLEDが緑点灯にならない(赤速点滅になる)

- 機器同士の電波が届いていない可能性があります。
下記の対応を行うと改善できる場合があります。
 - ➔ 中継器を使用していない場合は、ルーターをカメラに近づける、または中継器を設置してください。
 - ➔ 中継器を使用している場合は、中継器をカメラに近づけてください。
 - ➔ 上記でも改善できない場合は、中継器とルーターを有線接続し、別売の防水ケースに中継器を入れて屋外(カメラの近く)へ設置してください。
- 接続中の機器が同時に複数あるときは、エラーが発生する場合があります。
 - ➔ 1台ずつ接続してください。
- カメラと中継器、および中継器とルーターの接続操作の際、10分以内に接続を終えないとエラーになります。
 - ➔ 速やかに操作をしてください。
- QRコード(ご使用のルーターのネットワーク名(SSID)と暗号化キー)をカメラに読み取らせても、カメラのLEDが緑点灯にならない。
 - ➔ ご使用のルーターのネットワーク名や暗号化キーをアプリに入力する際、間違えていないか確認してください。

中継器の設置時に、中継器のLEDが緑点灯にならない(赤速点滅になる)

- 機器同士の電波が届いていない可能性があります。
下記の対応を行うと改善できる場合があります。
 - ルーターを中継器に近づける。
 - ルーターと中継器間を有線接続する。
- 接続中の機器が同時に複数あるときは、エラーが発生します。
 - 1台ずつ接続してください。
- カメラと中継器、および中継器とルーターの接続操作の際、10分以内に接続を終えないとエラーになります。
 - 速やかに操作をしてください。
- 中継器の切替スイッチ(無線/有線)が間違っていないですか？
 - 無線接続するときは、無線側に切り替えてください。
- QRコード(ご使用のルーターのネットワーク名(SSID)と暗号化キー)をカメラに読み取らせても、中継器の設定1のLEDが緑点灯にならない。
 - ご使用のルーターのネットワーク名や暗号化キーをアプリに入力する際、間違えていないか確認してください。

カメラとの通信

カメラとの通信ができない(中継器を使用時はP.50)

・映像が表示されない、乱れる、映像の更新速度が遅い
(通信ができなくても録画や検知音の鳴動など、カメラ単体での動作はできます)

- 次の場合は、カメラとの通信ができない場合があります。
 - ・ カメラがルーターから離れすぎている、またはカメラとの間にコンクリート壁、浴室、金属製品などの障害物があると、電波が弱くなり正しく通信できません。
 - ・ カメラとルーター間が圏外するとき。(カメラのLEDが赤速点滅)
 - ➔ カメラとルーターの距離を近づけてください。
(通信についてはP.14)
(カメラの電波状態の確認方法はP.24)
ルーターを移動できないときは、中継器の設置をお勧めします。
(中継器を使用するときはP.31)
 - ➔ 上記でも改善できない場合は、中継器とルーターを有線接続し、別売の防水ケースに中継器を入れて屋外(カメラの近く)へ設置してください。
- 無線が混信しているなど無線環境が悪い場合、映像が乱れることがあります。(故障ではありません)

カメラに接続できない

- 下記を確認してください。
 - ・ カメラとルーターの電源が確実に接続されている。
 - ・ スマートフォンがインターネット接続されている。

カメラの接続や動作

検知音が途切れる

- カメラ内の処理動作が重なったとき、検知音が途切れることがあります。(故障ではありません)

中継器について

中継器を設置してもカメラと通信ができない・カメラに接続できない

- 次の場合は、カメラとの通信ができない場合があります。
 - カメラと中継器間、中継器とルーター間が圏外するとき。
(カメラと中継器間: カメラのLEDが赤速点滅)
(中継器とルーター間: 中継器の設定1のLEDが赤速点滅)
電波確認の操作(下記)で、中継器およびカメラの電波強度を確認してください。
 - ➔ 中継器は床から高さ80 cm以上離れた、周囲に障害物の少ない場所に設置することをお勧めします。

〈電波確認のしかた〉

- ① カメラと中継器間の電波を確認する
(カメラのフロントカバーを取り外して設定ボタンを短押し(2秒以下)してください)
 - カメラのLED(状態表示)が緑速点滅の場合は、問題ありません。
(オレンジ速点滅の場合は※1を参照)
- ② 中継器とルーター間の電波を確認する
(中継器の設定1ボタンを短押し(2秒以下)してください)
 - 中継器のLED(状態表示)が緑速点滅の場合は、問題ありません。
(オレンジ速点滅の場合は※1を参照)

※1 LED(状態表示)が緑速点滅になる場所に中継器を移動してください。

- ➔ 中継器を移動してもカメラにつながらない場合、中継器とルーターの接続方法を有線LAN接続に変更してください。(接続についてはP.36)
- ③ アプリの操作(モニター画面の[メニュー]→[機器情報/ファームウェアアップデート])でもカメラや中継器の電波強度を確認できます。(アプリの「取扱説明書」(電子版)を参照)

その他

正しく操作しても動かない、動作がおかしい

- アプリを再起動してください。
- アプリでカメラを再起動してください。(アプリの「取扱説明書」(電子版)を参照)
- カメラとルーターの両方の電源を入り切りすると改善できることがあります。
- 設置場所の移動や停電により、ルーターや中継器の電源が切れると、中継器経由の接続ができなくなる場合があります。
→ 接続できないときは、電源を入り切りしてください。

こんなときには

〈本機を修理・譲渡・廃棄・返却するとき〉

- 管理者のスマートフォンのアプリでカメラの登録を削除もしくはアカウントの削除をしてください。(アプリの「取扱説明書」(電子版)を参照)
- microSDカードの取り扱い(取り出し・フォーマット)については、P.18、P.40を参照してください。

〈買い替えなどでルーターを変更する場合〉

ルーターに無線接続用のボタン(WPS、らくらく無線スタートなど)があるかをご確認ください。ボタンの有無で、操作方法が異なります。

- 管理者のスマートフォンで操作してください。

■無線接続用のボタンが「ある」ルーターに変更するとき(中継器使用時も含む)

➔ルーターを変更後、カメラの登録を最初からやり直してください。(P.27「カメラを接続する」)

■無線接続用のボタンが「ない」ルーターに変更するとき(中継器使用時も含む)

変更前にアプリで、[カメラの初期化]の[ネットワーク設定の初期化]をしてください。(アプリの「取扱説明書」(電子版)を参照)

変更前にアプリで初期化できなかったときは、カメラ本体の初期化ボタンを押してください。(P.22)(お買い上げの状態に戻ります)

➔ルーターを変更後、カメラの登録を最初からやり直してください。(P.27「カメラを接続する」)

〈ルーターの暗号化方式の設定を変更したとき〉

カメラ本体の初期化ボタンを押す、または中継器を使用時は、中継器の初期化ボタンを押してください。(お買い上げの状態に戻ります)

➔カメラの接続を最初からやり直してください。

(P.27「カメラを接続する」)

修理と保証

1.保証書について

- 保証書は別紙で同梱されています。
- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

2.保証期間



お願い

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日(お引渡し日) 1年		2年
▼	▼	▼
電 装 部 品	無 料	有 料
電装部品以外	無 料	有 料

3.修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年 月 日	電話番号	
施工店名		その他	

- 消耗品は寿命があり、有償保証となります。

4.点検および修理料金のしくみ

- 修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
 - 技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
 - 部品代は、修理に使用した部品代です。
 - 出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

5.交換用部品について

- お客様で自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。

リクシルパーツショップ

<https://store.lixil.co.jp/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客様さま相談センター  0120-126-001にご連絡ください。

×モ

取説コード

EXM-268

JZZ642490

202604_1009

認証機器名 8KCN01